葉色低下に注意！適切な追肥を！！

葉色が薄いほ場があり(ほ場間差大)、8月は高温予想のため、猛暑に備えて適切な後期栄養管理が必要です。

コシヒカリの出穂期は前回予想よりも遅れ、「平年より3日程度(0～6日)早く」、ほ場によりバラつきが大きくなっています。

1 7月20日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点9地点平均、移植日平均5月6日)

草丈(長) 茎数(やや多) 葉数(早い) 葉色(やや淡) ←ほ場間差大

		本年値	目標値 (栽培カレンダー・生育目標比・差)	前年値 (前年値比・差)
草丈	(cm)	87	75 (116%)	81 (108%)
茎数	(本/m ²)	460	430 (107%)	468 (98%)
葉数	(葉)	12.7	12.0 (+0.7)	12.5 (+0.2)
葉色	SPAD	31.3 (28.8～34.0)	33.0 (-1.7)	32.3 (-1.0)
	葉色板	3.4	3.6 (-0.2)	3.5 (-0.1)

2 コシヒカリの管理ポイント

(1) 一発基肥の追肥(出穂期12～10日前)

ア 葉色が著しく低下している場合(葉色板 3.3 以下、SPAD値 30 以下)、追肥を施用する。

(2) 分施の穂肥(2回目:出穂期12～10日前)

ア 2回目穂肥は、幼穂を確認し、適期に「必ず施用」する。

イ 3回目穂肥は、葉色低下が続く時のみ「出穂期3日前」までに施用。

判断に迷う場合は JA や普及センターに相談する。

※ 詳しくは、佐渡米カレンダー(7月)を参照。

減減栽培では化学窒素分量の超過に注意。

3 その他の管理ポイント

(1) 斑点米対策のため、一斉草刈り期間(7/15～27)を遵守すること。

農業用水の利用は節水を心がけ、地域全体で効果的に使用してください。